

令和6年度志木地区衛生組合歳入歳出予算概要

1. 予算規模

令和6年度予算の歳入歳出総額は、35億986万2千円となり、前年度比8,350万3千円の減、率にして2.3%の減となっています。

前年度と比べ減額となった主な要因は、電気料金については、燃料費等調整単価の値下がりによる減（前年度比3億6,913万2千円の減）や事業終了による土地区画整理事業清算金の減（前年度比1億2,714万9千円の減）や工事請負費については、粗大ごみ・ビン処理施設の火災対策改造工事完了による減（前年度比4,504万円の減）などによるものです。

一方で増額要因として、修繕費については、新座環境センター西工場の延命化修繕やその他の施設の懸案設備の修繕による増（前年度比2億309万4千円の増）や公債費については、基幹的設備改良事業債の元金償還が開始となることによる増（前年度比1億9,629万4千円の増）や運転管理業務委託料については、人件費や焼却施設で使用する薬剤価格の上昇による増（前年度比3,900万5千円の増）などによるものです。

2. ごみの搬入量見込みと処理経費

令和6年度のごみの総搬入量は83,320トンと見込み、前年度比3,250トンの減、率にして3.8%の減と見込んでいます。

うち、家庭系ごみについては、物価高騰による食料品等の消費の影響を踏まえ、前年度比2,450トン減の66,290トンと見込み、一方、事業系ごみについては、社会経済の状況によりごみの総量が減少傾向にあることから、前年度比800トン減の17,030トンと見込んでいます。

また、1トン当たりの処理経費については、予算総額は減額となるものの、ごみの総搬入量が減少すると見込んでいることから、前年度比1,132円増の42,080円と見込んでいます。

3. 歳入予算の主な特徴

(1) 分担金及び負担金

「構成市負担金」は、財政調整基金繰入金を前年度より減額したことなどにより、前年度比6,350万1千円増の26億4,025万円を見込んでいます。

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	前年度差	前年度比(%)
志木市	619,652	607,081	12,571	2.1
新座市	1,183,939	1,157,271	26,668	2.3
富士見市	836,659	812,397	24,262	3.0
合計	2,640,250	2,576,749	63,501	2.5

(2) 使用料及び手数料

「一般廃棄物処理手数料」は、事業系ごみの搬入量を前年度比800トン減の17,030トンと見込むことから、前年度比1,483万4千円減の3億8,744万4千円を見込んでいます。

(3) 繰入金

「財政調整基金繰入金」は、令和6年度以降、修繕費及び公債費の支出の増加が見込まれることから、構成市負担金の平準化を図るため、令和4年度に借り入れた埼玉県ふるさと創造貸付金の3億7,980万円を繰入れ構成市の負担軽減を図ります。

※令和5年度末時点での財政調整基金残高見込 11億9,449万3千円

※令和6年度末時点での財政調整基金残高見込 8億1,505万2千円

(4) 諸収入

「有価物売却代金」は、金属類、スチール・アルミ缶及びペットボトル等の売却実績や市況を踏まえ、前年度比37万4千円減の6,767万4千円を見込んでいます。

(単位：円)

区分	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
金属類	20,250,000	20,760,000	△510,000
スチール・アルミ缶	27,900,000	25,200,000	2,700,000
ビン類	325,600	345,400	△19,800
紙類	170,500	266,200	△95,700
ペットボトル	18,200,000	20,550,000	△2,350,000
自転車	256,080	348,700	△92,620
羽毛ふとん	72,600	78,100	△5,500
不燃性有価物	500,000	500,000	0
合計	67,674,780	68,048,400	△373,620

4. 歳出予算の主な特徴

【(款)3 衛生費・(項)1 清掃費・(目)1 清掃総務費】

(1) 職員給与費〔給料・職員手当等〕

令和6年度は構成市から事務局長の派遣を受ける年度となることから、職員給与費は、前年度比1,368万円増の8,063万9千円を見込んでいます。

【(款)3 衛生費・(項)1 清掃費・(目)2 塵芥処理費】

(2) 光熱水費〔需用費〕

電気料金は、燃料費等調整単価が大幅に下落していることなどを踏まえ、前年度比3億6,913万2千円減の3億6,193万2千円を見込み、上下水道料金は、使用実績から前年度比160万円減の3,495万6千円を見込んでいます。

(単位：千円)

施設名	内訳	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
富士見環境センター	電気料金	195,204	433,608	△238,404
	水道料金	14,760	15,900	△1,140
	下水道料金	2,964	2,976	△12
新座環境センター	電気料金	166,728	297,456	△130,728
	水道料金	17,232	17,680	△448
合計		396,888	767,620	△370,732

※新座環境センターは下水道に接続していません。

(3) 修繕費〔需用費〕

施設の安定稼働と延命化を図るため、富士見環境センター焼却施設、粗大ごみ・ビン処理施設、プラスチック分別処理施設、新座環境センター東・西工場の5施設及び、施設共通管理について、定期オーバーホールなど施設の修繕経費や新座環境センター西工場の延命化修繕として、前年度比2億309万4千円増の10億994万9千円を計上しています。

主な修繕項目としては、富士見環境センターでは、減温塔ダストコンベヤの更新や余熱利用設備ポンプの更新等、新座環境センター東工場では、灰クレーンの整備や飛灰混練機更新等、西工場では、ごみ投入扉の更新や灰クレーンの更新等の延命化修繕などを予定しています。

なお、修繕の執行にあたっては、公共工事設計労務単価や(公社)全国都市清掃会議の積算要領などを使用することで、金額の適正化と透明化を図ってまいります。

(単位：千円)

施設名	予算額	主な修繕内容と金額（諸経費及び消費税別）
富士見環境センター 施設共通管理	1,562	・トラックスケール整備及び法定検査 1,420
富士見環境センター 焼却施設	173,360	・1号炉No.1減温塔ダストコンベヤ更新 30,000 ・排水処理設備、余熱利用設備各ポンプ更新 25,900 ・1号炉減温水リングヘッダー他減温塔整備 12,800 ・ごみ汚水中間槽整備 10,000
粗大ごみ・ビン処理 施設	52,800	・低速破碎機供給コンベヤエプロンパン等交換 17,000 ・低速破碎機回転刃及び固定刃肉盛り、シャフトカラー等交換 4,000 ・高速破碎機供給コンベヤレール等交換 2,000
プラスチック分別 処理施設	57,145	・タイミングベルト取替 3,000 ・圧縮梱包機主押しスクレーパー取替 600 ・シュート・ホッパー腐食部補修 200
新座環境センター 施設共通管理	1,634	・トラックスケール整備及び法定検査 985
新座環境センター 東工場	293,865	・灰クレーンケーブルリール、巻上リミット交換 38,000 ・飛灰混練機更新（入口・出口シュート、配管交換） 36,000 ・バグフィルタ用空気圧縮機、除湿器更新 25,000 ・灰押出装置、各種コンベヤ、混練機等整備 33,000
新座環境センター 西工場	429,583	・ごみ投入扉（2号）更新 30,000 ・灰クレーン走行レール、灰クレーンバケット更新 30,000 ・炉内耐火物補修 14,000 ・風道・煙道部分更新 13,000 ・主灰出しコンベヤ更新 25,000 ・工業計器部品交換 10,000 ・Nox・Sox・Co・O2分析計更新 16,500 ・雑・計装用コンプレッサ更新 18,400

(4) 運転管理業務委託料〔委託料〕

施設の適切な運転や維持管理のため、富士見環境センター焼却施設、粗大ごみ・ビン処理施設、プラスチック分別処理施設、新座環境センター東・西工場の5施設について、運転管理業務委託料として、前年度比3,900万5千円増の10億6,587万5千円を計上しています。

増額要因としては、(公社)全国都市清掃会議の積算要領に基づく労務単価の上昇及び各焼却施設で使用する薬剤価格の上昇の影響によるものです。なお、富士見環境センター焼却施設については、令和5年度当初予算において使用薬剤の量を最大値で計上していたことから令和6年度当初予算では、減となっています。

(単位：千円)

施設名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
富士見環境センター焼却施設	286,044	290,400	△4,356
新座環境センター東工場	209,894	189,896	19,998
新座環境センター西工場	211,860	199,532	12,328
粗大ごみ・ビン処理施設	192,034	186,358	5,676
プラスチック分別処理施設	166,043	160,684	5,359
合計	1,065,875	1,026,870	39,005

(5) 廃棄物処理業務委託料〔委託料〕

焼却灰等の最終処分経費として、前年度比1,529万8千円増の3億6,923万1千円を計上しています。

焼却灰等の主な搬出先は、青森県、秋田県、山形県、宮城県、栃木県、埼玉県等です。

また、当組合では、最終処分場を保有しないことや循環型社会を形成するため、焼却灰等の再資源化割合を今年度は予算上63%としています。

(単位：千円)

施設名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
富士見環境センター焼却施設	136,994	124,190	12,804
粗大ごみ・ビン処理施設	29,023	30,478	△1,455
新座環境センター東工場	98,604	96,855	1,749
新座環境センター西工場	104,610	102,410	2,200
合計	369,231	353,933	15,298

(6) 工事請負費

富士見環境センター止水板設置工事 343万6千円

焼却施設東側の開口部6箇所を設置

【(款)4 公債費・(項)1 公債費・(目)1 元金 2 利子】

(7) 公債費〔償還金、利子及び割引料〕

富士見環境センター基幹的設備改良事業債及び埼玉県ふるさと創造貸付金の元金償還開始に伴い、前年度比1億8,816万9千円増の4億2,739万3千円を計上しています。

5. 債務負担行為

自動燃焼・データ処理装置交換修繕（新座環境センター西工場）
機器の納期に時間を要することから債務負担行為を設定します。

事 項	期 間	限度額（千円）
自動燃焼・データ処理装置交換修繕 （新座環境センター西工場）	令和6年度から 令和7年度まで	1億2,969万円

6. 行財政改革等の取組み

(1) 富士見環境センター止水板設置工事

富士見環境センター止水板設置工事 343万6千円

富士見環境センターは、平成28年及び令和元年に水害があり、施設の復旧まで、ごみの搬入を停止したこともあることから、令和5年度から被害の大きかった箇所を優先に止水板設置工事を実施しております。構成市の財政負担を平準化するため、順次、富士見環境センターに止水板設置工事を行い、施設の安定稼働に努めてまいります。令和6年度については、焼却施設の東側に設置いたします。

(2) これまでの取組

①飲料用自動販売機設置に係る貸付 88万7千円

②ホームページバナー広告掲載料 30万円

③再生家具の販売 96万円

④不燃磁性有価物の売却 50万円

⑤新規有価物売却先の開拓

・布団類（羽毛布団以外の布団等）の売却・・・令和5年3月から

7. 款別比較表

(1) 歳入

(単位：千円、%)

区 分		本 年 度		前 年 度		比 較	
		予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1	分 担 金 担 及 び 金 負 担	2,640,250	75.2	2,576,749	71.7	63,501	2.5
2	使 用 料 数 及 び 料 手 数	388,063	11.1	402,884	11.2	△ 14,821	△ 3.7
3	財 産 収 入	1,245	0.0	1,088	0.0	157	14.4
4	繰 入 金	379,800	10.8	512,565	14.3	△ 132,765	△ 25.9
5	繰 越 金	30,000	0.9	30,000	0.8	0	0.0
6	諸 収 入	70,504	2.0	70,079	2.0	425	0.6
歳 入 合 計		3,509,862	100.0	3,593,365	100.0	△ 83,503	△ 2.3
内 訳	一 般 財 源	3,509,504	100.0	3,593,337	100.0	△ 83,833	△ 2.3
	特 定 財 源	358	0.0	28	0.0	330	1,178.6

(2) 歳出

(単位：千円、%)

区 分		本 年 度		前 年 度		比 較	
		予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1	議 会 費	5,440	0.1	5,439	0.1	1	0.0
2	総 務 費	16,123	0.5	15,591	0.4	532	3.4
3	衛 生 費	3,050,906	86.9	3,323,111	92.5	△ 272,205	△ 8.2
4	公 債 費	427,393	12.2	239,224	6.7	188,169	78.7
5	予 備 費	10,000	0.3	10,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計		3,509,862	100.0	3,593,365	100.0	△ 83,503	△ 2.3

(参考)

(単位：千円)

区 分		令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
財政調整基金 の年度末現在 残高見込額	年 度 当 初	468,489	1,092,366	1,194,493
	増 減 額	623,877	102,127	△ 379,441
	年 度 末	1,092,366	1,194,493	815,052

8. 歳出性質別比較表

(単位：千円、%)

区 分	本 年 度		前 年 度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	549,591	15.7	343,829	9.6	205,762	59.8
人件費	121,433	3.5	103,875	2.9	17,558	16.9
扶助費	765	0.0	730	0.0	35	4.8
公債費	427,393	12.2	239,224	6.7	188,169	78.7
投資的経費	3,436	0.1	48,476	1.3	△ 45,040	△ 92.9
普通建設事業費						
補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独事業費	3,436	0.1	48,476	1.3	△ 45,040	△ 92.9
その他の経費	2,956,835	84.2	3,201,060	89.1	△ 244,225	△ 7.6
物件費	1,930,964	55.0	2,251,687	62.7	△ 320,723	△ 14.2
維持補修費	1,009,949	28.8	806,855	22.4	203,094	25.2
補助費等	5,563	0.1	132,489	3.7	△ 126,926	△ 95.8
積立金	359	0.0	29	0.0	330	1,137.9
予備費	10,000	0.3	10,000	0.3	0	0.0
合 計	3,509,862	100.0	3,593,365	100.0	△ 83,503	△ 2.3

9. 公債費の支出予定額

(単位：円)

償還区分 年 度	借 入 額	元 金	利 子	計	年度末残高
令和 2 年度	33,100,000	80,582,138	4,169,022	84,751,160	765,767,490
令和 3 年度	1,529,100,000	81,008,199	3,752,483	84,760,682	2,213,859,291
令和 4 年度	1,878,100,000	84,566,126	6,062,352	90,628,478	4,007,393,165
令和 5 年度		221,265,721	10,224,959	231,490,680	3,786,127,444
令和 6 年度		417,559,366	9,832,591	427,391,957	3,368,568,078
令和 7 年度		456,306,073	8,743,410	465,049,483	2,912,262,005
令和 8 年度		457,075,784	7,461,326	464,537,110	2,455,186,221
令和 9 年度		457,848,514	6,187,927	464,036,441	1,997,337,707
令和 10 年度		458,624,277	4,884,454	463,508,731	1,538,713,430
令和 11 年度		447,380,924	3,615,485	450,996,409	1,091,332,506
令和 12 年度		375,237,556	2,498,901	377,736,457	716,094,950
令和 13 年度		372,432,914	1,651,773	374,084,687	343,662,036
令和 14 年度		236,992,036	876,934	237,868,970	106,670,000
令和 15 年度		68,690,000	407,439	69,097,439	37,980,000
令和 16 年度		37,980,000	189,900	38,169,900	0